

ゆなばり 市議会だより



RESTART
Challenge More.

73 号 2026.8

地域懇談会開催のお知らせ

4年間の議員活動振り返りをもとに市民の皆さんと議員が自由に意見交換ができる機会をつくるため、今年は懇談会を開催します。皆様お誘い合わせの上、ぜひおこしてください。

日 時 9月26日(土)

13時30分～/18時00分～

※事前予約不要

場 所 りすた 多目的ホール

●問い合わせ先

夕張市議会事務局 ☎0123-52-3172



昨年開催された意見交換会の様子です

安心して暮らせる

持続可能なまちづくり

千葉 市長二期八年で進めてきた地方版総合戦略のコンパクトなまちづくりの進捗状況と課題

市長 立地適正化計画を実現するため、清水沢地区に「拠点複合施設」を、丘の上こども園「若菜地区」に「市立診療所」を整備し、都市機能の誘導を図ることで、拠点地区の生活利便性を向上させてきた。居住に関しては、新築や中古住宅の取得に対する補助を実施するなど居住誘導に少ないながらも効果をあげているところであります。

課題と感じているところは、居住誘導区域へ人の誘導をどう活発化させて、持続的に拠点地区の人口密度を維持していくことです。

千葉 拠点地区である紅葉山地区のまちづくりの考え

市長 紅葉山地区は、国道274号と452号の結節点であり、駅やインターチェンジを有するなど、交通の利便性が高いことが地区の特徴と考える。交通の他にも商業、医療、郵便局など都市機能が集積しており、暮らしの利便性も高い地区であり、交通の要衝として交流人口の拡大施策を核として進めていく地区と考えている。



千葉 勝



千葉 紅葉山地区への居住誘導を図るため、特に子育て世帯向けの住宅確保の取組

市長 紅葉山地区に住棟を増やしていくかは、全市的に人口減少や年齢構成を考慮しながら判断する必要がある。

直ちに紅葉山地区に市営住宅を新築して、誘導を図っていく考えはありません。

千葉 地域再編地区に安心して住み続けられる施策と市営住宅からの住み替え誘導

市長 地域再編地区の人口減少が進んでいけば、コミュニティなど現状を維持することが難しくなっていくと考える。いつからと現段階では明言できないが、拠点地区への誘導を進める必要があると考えている。市営住宅からの住み替え誘導をいつからどこから始めるか、移転先にどれだけの戸数が必要かなど、人口減少の推移や居住者の年齢構成などを考慮し、しっかりと見極める必要があると考える。まずは、きちんとプランニングをするところから進めていきたい。

これからの夕張の観光について

徳谷 再生振替特例償還後の持続可能な地域経済の発展に向けて、今後の観光戦略に関する方針を伺う。

市長 大型施設に頼るものではなく、既存の地域資源を活かす方針で、観光事業者を中心とした意見交換を昨年度からこれまでに4回実施している。

市の観光のあり方について、検討を深めている。

徳谷 意見交換会において、参加者から過去にどのような意見や要望、課題認識が示されているのでしょうか。

市長 これまでの意見交換会で、事業者間で互いの事業内容を把握しきれない等の実態があったことがわかりました。今後は魅力的な観光プログラムや、その実践に向けた運営体制のあり方について、議論を継続してまいります。

徳谷 行政をはじめ観光関連事業者の人手不足の中、今後のどのような観光振興体制づくりを進めていくのか。

市長 観光事業者間で、情報共有に加え、一元的な情報を発信する体制を構築した方がよいのではないかと、という意見もあったため、市としても意見交換を踏まえながら観光事業を推進する体制づくりを後押ししてまいります。



徳谷康憲



と考えております。

徳谷 市が中心となつて関係団体の連携、取りまとめを担うことが重要であるが、どのように考えているのか。

市長 意見集約について、市は主導的役割を続けるが、行政の関与が強すぎると民間の経営感覚や自由な発想を損なう可能性もあるため、夕張の実情に適した関係性を築いていきたい。

徳谷 市として新たな観光施設の建設について検討しているのか。

市長 新たな観光施設の建設は考えておらず、建設に当たっては慎重な検討が必要であると考えております。

徳谷 必要であれば、新たな観光施設の整備や観光拠点の創出についても選択肢から排除することなく、夕張市の新たな魅力づくりにつながる施策を積極的に検討していただきたい。

市長 財政再生計画におきまして不採算の観光事業は実施しないこととしている。一方で私が考える夕張の観光振興でございしますが、観光資源を通しての市内経済活性化、これは大事であるという風に捉えておりまして、その後をどのようにしていくかについては事業者とも時間をかけて議論していく必要があると考えている。

市民との約束

市長公約の進捗状況

工藤 拠点地区である紅葉山地区について、取り組みと今後の展開を伺う。

市長 道の駅夕張メロロードについては、リニューアルやイベント開催により一定の成果があったと認識しております。また、今後の展開については、運営協議会の総会でも、スピード感を持って、道の駅の魅力向上に取り組むことを確認いたしました。

工藤 道の駅周辺の未利用地の活用も含めた施設のあり方の検討をすべきではないか。また、検討や実現に当たっては、市が主導的な役割を担うべきではないか。

市長 大規模整備には慎重な検討が必要だと考えております。最終的な意思決定は、運営協議会で行うものと認識しておりますが、協議会という形に囚われず、市からも積極的な提案をしてまいりたいと考えております。

工藤 市長公約には「夕張固有の車両であるSL館の車両移設を検討する」とあるが検討したのか伺う。

市長 SL館の車両移設については、移設の経費が多額で億単位の費用が必要という話もあったと承知しております。

そのため、財政再生期間においては



工藤政則



実施が困難であるとして、検討に至らなかったところです。

工藤 市長公約の進捗状況とこの3年の受け止めと最終年を迎えてどのようになっているか伺う。

市長 29の公約すべてについて着手し、一部を除き概ね進捗している。令和8年度においては、これまで進めてきた公約を更に推進し、財政再建後の新しい指針となる夕張市総合計画を本年度中に策定し、今後の夕張の姿をお示しすべく取組んでまいります。

工藤 夕張メロンの初セリでの、評価をどのように受け止めるか伺う。

市長 まず、生産者や関係者の皆様の献身的なご努力が評価されたものであると認識しております。その上で、夕張市が取り組んできた財政再生について、評価された側面もあるのではないかと認識しており、引き続き、少しでも公約が果たされるよう取り組んでまいります。

工藤 中長期的課題に対して市長はどのように考えているのか伺う。

市長 令和9年度以降の取り組みにおいても責任を持って取り組む準備を進めてまいります。

市内経済の活性化について

君島 物価高騰に対する生活の下支えとして実施した、プレミアムチケット事業の経済波及効果と、現金等ではなく本事業を選択した意図を伺う。

市長 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、プレミアム率30%の設定で販売した。購入分約1億2900万円とプレミアム分約3900万円、合計約1億6800万円が市内で流通することとなり、地域経済への波及効果は大きい。購入の利便性を考え、年金支給日に合わせた販売期間や、50000円から10段階の購入価格を設定し、市民が購入しやすい環境を整えた。現金配布等は市外で消費される可能性があるが、市内限定のチケットとすることで、確実に市内事業者の支援と経済循環を図る意図がある。他市の事例や、市民の意見を次回にどう活かせるか、しっかりと検討させていただきたい。

君島 事業用地データベースを活用した企業誘致の進捗と、進出企業への具体的な支援体制を伺う。

市長 所有企業から情報を収集したデータベースを継続活用し、積極的なマッチング体制を構築している。問い合わせに基づき、実際に用地所有者へ



君島孝夫



情報提供を行った例もある。進出時の支援策としては、固定資産税を減免する「夕張市企業開発促進条例」のほか、初期費用を助成する「夕張市創業等支援事業補助金」、人材確保を支援する「夕張市資格取得支援補助金」などを用意している。さらに、国や道の支援情報の提供や申請フォローも含め、多角的に進出事業者をサポートに取り組んでいる。

君島 観光事業における市内関係者意見交換の効果と、今後の体制づくりについて伺う。

市長 これまでの意見交換会を通じ、通常関わりのない事業者間の交流や地域資源の再発見という効果があつた。参加者からは、限られた資源を最大限に生かす方法や、組織体制の構築を求める声が出されている。観光シーズンの繁忙期を経て、本年秋頃に意見交換を再開する予定であり、さらに具体的な議論を深めていく。行政の関与が民間の自由な発想を損なわないよう配慮しつつ、関係者の皆さんが一体となって活躍ができる形を、市として作りたいと考えている。

総合計画について

「将来の姿、市民と共有を」

櫻井 市民アンケートの結果、世代別にどのような傾向と課題をとらえたのか？

市長 高齢世代は、地域コミュニティに安心感があり、幸福度が比較的高く、雇用・働く場の確保、快適な生活環境や医療・福祉の充実を求めている。

現役世代では、子育て環境や地域の魅力向上に対するニーズが高く、移住・定住の促進、特に「子どもの遊び場」や「子育て支援施設」などの子育て支援の充実、観光振興・交流人口の拡大の推進などを求めていることがわかった。

全世代を通じ、幸福度が高いほど「住み続けたい」意向。幸福度向上に資する施策の推進が、定住意向の向上に繋がると認識している。

櫻井 市民、高校生、中学生それぞれの「満足度、幸福度」の結果は？

市長 10点満点で市民の幸福度6点、満足度5・5点。高校生の幸福度8点、満足度7点。中学生の幸福度7・8点、満足度7点。

櫻井 市民への公表を行う予定は？

市長 総合計画策定の基礎資料となるため、適切な時期に公表する。

櫻井 総合計画策定に遅れが生じているとの報道も。進捗状況と今後の策



櫻井 暁



定スケジュールは？

市長 より良い計画とすべく、骨子見直しの結果、当初予定より遅れている状況となっている。令和9年3月の定例市議会で議決いただき、今後の夕張市の目指す姿を市民にお示しする。

櫻井 議会へ提案する前に、市民の意見を反映する手立ては？

市長 近々開催を予定している市政懇談会の中で説明し、ご意見をいただきたい。それ以外にも説明機会を作ることができないか検討している。

櫻井 将来のビジョンとして一番に示したい点は何か？

市長 まちの規模が縮小しても一人ひとりが誇りと幸せを実感できる、持続可能なまちとしていくこと。

豊かな自然や石炭産業の歴史、地域文化、そして地域を支えてきた強いコミュニティを守り活かしながら、コンパクトな都市構造とする。地域資源を活かした産業や交流を促進し地域の活力を高めつつ、市民の健康や福祉、教育の充実を通じて暮らしの豊かさと幸福度の向上を目指す。

住み続けたい、戻りたい、と思っただけのまちづくりを進めるべく、しっかりと計画を策定していく。

行事参加報告

6月21日に開催された夕張メロンまつりに議員が参加しました。市内外から多くの来場者が訪れ、会場は大きなにぎわいを見せました。議員は地域を代表する特産品の魅力発信や交流事業の様子を視察し、地域振興への理解を深めました。

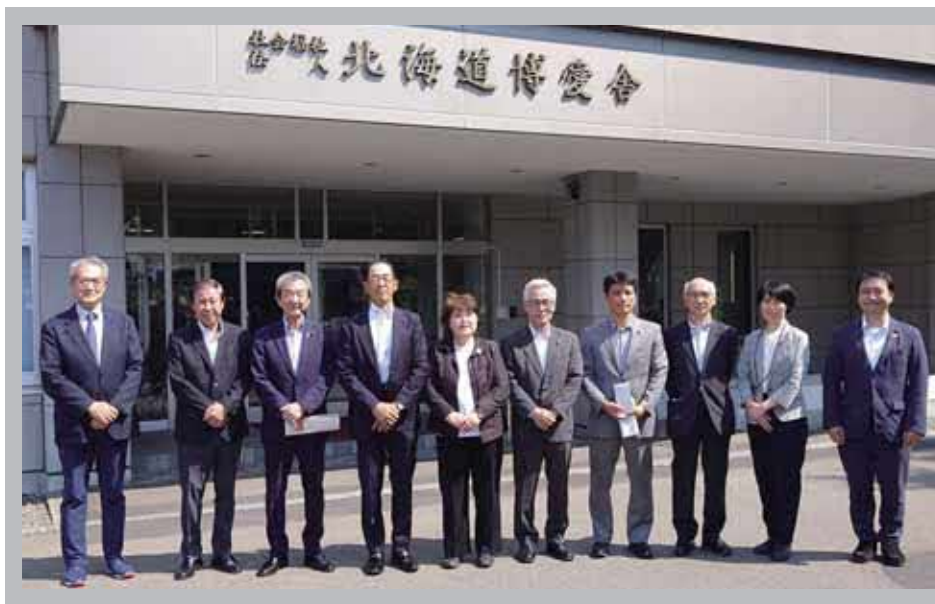


行政視察報告

5月22日に夕張メロンの初競りを視察しました。史上最高値となる2玉580万円での落札が決まり、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。夕張ブランドの価値を改めて感じる初競りとなりました。



歴史に残る高値落札!!



7月3日、社会福祉法人北海道博愛舎にて排雪を活用した雪冷房システムを視察し、自然エネルギーを利用した環境にやさしい取組を学びました!

議会報告

第4回臨時市議会 5月12日

議案1件、報告2件について審議を行い原案のとおり可決となりました。

第2回定例市議会 6月9日～6月17日

夕張市財政計画の変更など議案15件、報告4件、意見書案2件について審議し、それぞれ原案とおり全会一致で可決しました。

今後の議会日程

- 9月 2 日(水) 行政常任委員会
- 9月 8 日(火) 第3回定例市議会 初日
- 9月 9 日(水) 第3回定例市議会 2日目
- 9月16日(水) 行政常任委員会
決算審査特別委員会
- 9月18日(金) 第3回定例市議会 最終日

※日程は、変更になる場合があります。
市議会ホームページでご確認ください。

夕張市議会だより編集委員会

委員長	工藤 政則
副委員長	櫻井 暁
委員	徳谷 康憲
委員	荒井 周司
委員	君島 孝夫
委員	千葉 勝
委員	高間 澄子

夕張市議会の情報はこちら



夕張市議会
ホームページ



夕張市議会
YouTubeチャンネル